

若いなかま

若いなかま No.202
2018 (平成30)年 7月15日 発行

発行 (公社)福岡県青少年育成県民会議
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番50号
吉塚合興庁舎6F
TEL:092-643-6001 FAX:092-643-6003
E-mail: netyoi@issoken.jp
ホームページ: http://www.fayok.jp/



平成29年度「家庭の日」「オアシス運動」ポスターの部
最優秀作賞 遠賀町立鳥門小学校6年 藤井 侑野



優秀賞
遠賀中2年
江口 柚花



優秀賞 垂見小1年 古藤 梨々華



優秀賞 浅木小2年 足立 福哉



優秀賞 椎田中3年 齋藤 杏実



優秀賞 浅木小5年 足立 美月

目次

平成30年度定時総会開催	2	特集「吟詠剣詩舞部」(県立嘉穂高校)	6
青少年育成活動で表彰	3	地域の話題 (筑後市・直方市)	7
永年賛助会員に感謝状贈呈	4	青少年の健全育成を考える 「青少年育成考」	8
平成30年度事業計画	5	事務局だより	8

(公益社団法人)福岡県青少年育成県民会議は、

青少年問題の重要性にかんがみ、広く県民の総意を結集し、国や県の施策に呼応して、総合的な運動を展開し、将来を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に昭和41年12月13日に結成されました。

(昭和45年 社団法人。平成25年4月1日公益社団法人に移行となる。)

平成30年度

公益社団法人

福岡県青少年育成県民会議定時総会

とき 平成30年5月31日(木) 14時～ ところ 福岡リーセントホテル

(公社)福岡県青少年育成県民会議の定時総会が開催。昨年度の総括と本年度の方針が審議、承認された。当日は、江口勝福岡県副知事をはじめ多数の来賓が出席され、福岡県議会議長井上順吾氏よりメッセージを頂いた。また、総会に先立ち、長年の青少年健全育成活動の功労者等に対して表彰状が贈呈された。閉会後には右田会長が退任の挨拶をされた。

子どもの数37年連続
減少に!!
高まる青少年の
健全育成の重要性!!



公益社団法人
福岡県青少年育成県民会議
会長 右田 喜章

毎年、国は、5月に15歳未満のこどもの統計データを発表している。今年の発表のタイトルは2つ。「こどもの数は1553万人、37年連続の減少」「総人口に占めるこどもの割合は12.3%44年連続の低下」である。
すでに一年間の出生者数が百万人の大台を下回っている状況が続いている今日、この

ようなタイトルが繰り返されることは、確実であると思う。
こどもたちを巡るこのような厳しい現実と予測を踏まえると、私たちの地域や国の将来を担う青少年の健全育成の重要性は、ますます高まるばかりである。次世代を担う健やかな青少年を育成するため「青少年の置かれた立場」「社会が青少年に求める姿」を的確に把握して、市町村民会議や青少年団体が一緒になって、この運動を進めていく県民会議の役割には、大きなものがあり、その役割を果たしていくには、息の長い取り組みが必要だ。地道だが、着実に、活動の実績を積み重ねていくことが基本である、との思いを強くしていると、挨拶した。

「豊かな心と志を持つ
たくましい青少年」を目指す
青少年プランと策定



福岡県副知事
江口 勝

近年、少子化や核家族化、さらにスマートフォンによるインターネットの利用など、子ども達を取り巻く環境は大きく変化している。
昨年度、県が実施した青少年や保護者を対象にしたインターネット利用状況調査では、保護者が思っている以上に子ども達はインターネットをきっかけとして交友関係を広げている実態も見えてきた。安全に安心して青少年がインターネットを利用できるよう、家庭でのルールづくりなど、皆様とともに進めたいと考えている。
また、県では今年3月、福岡県青少年健全育成総合計画、いわゆる青少年プランを策定した。

その基本理念は「家庭、学校、地域、企業、行政それぞれが責任を果たしながら、連携して、社会全体で青少年を育む福岡県をめざす」としている。
県としては、この基本理念のもと、福岡県青少年育成県民会議をはじめ、皆様と手を携え「豊かな心と志を持ったたくましい青少年」の育成に務めていくと、挨拶した。

右田会長 退任挨拶

右田会長は、副会長を2年間、会長を10年間務められた。
「10年前には、スマホ・AIなどは無く、今は子どもの環境が段々と複雑になってきたこと、子どもの数が減少し続けていることから県民会議の役割の重要性と各団体も力を貸してほしい」と話し、「長い間ありがとうございました」と退任の挨拶があった。
総会後の理事会で副会長の長井政典氏が新会長に選定された。

新会長の紹介

長井 政典(ながい まさのり)

昭和29年生 福岡市在住

昭和54年4月西日本新聞編集局勤務、地域報道部次長、

人事部長、総務局長を歴任。

その後、西日本トップクリエイティブ取締役社長、西日本新聞

会館代表取締役等に就任。

現在は西日本新聞ビルディング常務取締役

として活躍中。平成28年より県民会議副会長

に就任。



16
TEN
JIN
SKY
HALL

西日本新聞会館16F 天神スカイホール

天神ど真ん中のホスピタリティホール

福岡・天神の多目的ホールとして「心からのおもてなし」を提供します。講演会、シンポジウム、研修会、同窓会、各種パーティー、記念行事など多目的にご利用いただけます。



表彰

おめでとーいございます

14個人と1団体に表彰状が

2団体3個人に

感謝状が贈られる！

総会議事に先駆けて、長年にわたる青少年育成活動の功労者と、永年賛助会員に表彰状と感謝状が贈られました。

祝 個人表彰

井口 正勝 氏 遠賀町 11年

平成19年から遠賀町青少年育成町民会議オアシス部会長、副会長、顧問として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。特に、オアシス部会長として「家庭の日」「オアシス」のポスターをゆめタウンに展示し、その啓発の推進に努める。

河原 正治 氏 小都市 10年

平成元年以降、中学校PTA会長、区長、小都市青少年育成市民会議理事、副会長、小都市協働のまちづくり推進連絡会議会長として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。特に、各校区の育成会を小都市協働のまちづくり推進連絡会議の育成部会と位置づけるため、その調整に大変尽力され、その功績は大きい。

末時 靖博 氏 香春町 24年

平成6年から香春町青少年育成町民会議理事、事務局長、副会長、顧問、会長として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

特に、声かけ運動、補導・巡回活動、マラソン大会、少年の主張大会などにおいては、中学校長の経験を生かし、その功績は非常に大きい。

中島 章 氏 行橋市 25年

昭和57年から子ども会育成会会長、会長、行橋市青少年育成市民会議委員、理事、泉安心のまちづくり協議会委員、副会長、会長として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

特に、子ども育成会の役員として、平成17年には、子ども育成会指導員の認定を受け、企画・運営・指導に熱心に取り組むとともに、安心のまちづくり協議会、健康・体力づくり推進委員会の委員として、学校の下校時の見守り・声かけ、大型商業施設、ゲームセンターなどの巡回活動や健康な身体への育成に熱心に取り組んでいる。

霍田 陽吉 氏 行橋市 42年

昭和51年からソフトボール審判員、グラウンドソフトボール審判員、障がい者スポーツ指導員、民生委員・児童委員、小中学校の学校評議員として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

特に、ソフトボール審判員、障がい者

スポーツ指導員として、長年スポーツ指導員として、子ども達とのふれあいや保護者、地域との交流を積極的に行い、青少年の健全育成に努めている。さらに、問題を持つ児童や保護者の相談にも親身に応じている。

川上 剛一 氏 行橋市 23年

平成7年から校区子ども会育成連合会副会長、会長、行橋市青少年育成市民会議理事として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

特に、まつり、子どもまつり、スポーツフェスタ、交流球技大会などの企画運営にあたり、子ども達との交流を通して、青少年の健全育成に努めている。

中野 砂枝 氏 行橋市 11年

平成19年から行橋市青少年育成市民会議委員、仲津校区婦人会副会長として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

特に、登下校時の声かけ、あいさつなどの「見守り活動」や夜間のパトロールに長年取り組み、青少年の健全育成に努めている。

柴田 勲 氏 豊前市 22年

平成8年から校区の見守り、声かけ運動を先駆者として始め、現在では、宇島見守り隊として60人体制となり、その中心的な隊員として、積極的に後進の指導にもあたり、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

釘丸 善明 氏 豊前市 25年

平成5年から黒土町文化祭実行委員会のメンバーとして、文化芸術の振興、コミュニティの推進を図るなど、青少年育成活動に深い理解と情熱を持って活動。

年々地域における文化芸術の継承が薄れつつある中で、後進の指導や文化の継承を通じて、青少年の健全育成に力を注いでいる。また、区長や老人会会長としても、地元での健全育成に努めている。

松大路 秀一 氏 太宰府市 36年

昭和57年から太宰府少年の船協会運営委員、実行委員、太宰府ジュニアリーダークラブ育成会会長として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。

長年にわたり、太宰府少年の船協会の役員として、リーダーの育成、子どもの健全育成活動を行っている。

さらに、平成2年からは、太宰府ジュニアリーダークラブの設立・育成運営に大きく貢献し、現在は太宰府ジュニアリーダークラブ育成会会長として、広く青少年の健全育成活動に努めている。

佐々木 美津代 氏 太宰府市 26年

平成4年から太宰府子ども会育成会連合会役員、太宰府ジュニアリーダークラブ育成会運営委員、役員として青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動。



松井 政信氏 宮若市 14年

平成16年度から福岡県青少年育成県民会議家庭部会委員、理事として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動するとともに、県民会議の運営に多大な貢献を行った。

特に、「家庭の日」「オアシス運動」の普及・啓発、乳幼児からの教育研修に大きく貢献した。



表彰を受けた皆様

中嶋 俊子氏 行橋市 10年

平成20年度から福岡県青少年育成県民会議家庭部会委員として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動するとともに、県民会議の運営に多大な貢献を行った。

特に、「家庭の日」「オアシス運動」の普及・啓発、乳幼児からの教育研修、設立50周年記念事業に大きく貢献した。

諫山 裕美氏 飯塚市 10年

平成20年度から福岡県青少年育成県民会議健全育成部会委員として、青少年育成・非行防止活動に深い理解と情熱を持って活動するとともに、県民会議の運営に多大な貢献を行った。

特に、少年の野外活動事業の企画・運営、大自然の中での体験学習の指導や指導者の育成に大きく貢献した。

永年賛助会員感謝状贈呈者

20年賛助会員

松岡 久代 様

10年特別賛助会員

九州旅客鉄道 関様

10年賛助会員

(株)九州学士会 様

花田 拓 様

原口 庄 様

祝 団体表彰

「モーニング母さん。」

今回、唯一、団体の部で表彰されたのが、豊前市の絵本読み聞かせグループ「モーニング母さん。」です。豊前市の横武小学校の読み聞かせボランティアによって平成14年に結成されました。グループ名は、アイドルグループ「モーニング娘。」からとったもの。現在、会員は「父さん」1名を含む11名。毎月2回、横武小学校で、絵本や紙芝居などの読み聞かせを行っています。

また、夏休みの横武公民館や市民会議主催の行事でも読み聞かせ活動が続けています。

会員のみなさんは「子どもたちのキラキラとした笑顔に、私たちも元気をもらっています」「物語の扉を開く楽しみが伝わってほしい」「私たちの活動で、子どもたちが将来の心の糧となる本に出会ってくれれば、うれしいですね」などと夢を広げています。



FFG 福岡ファイナンシャルグループ

あなたのいちばんに。

福岡銀行



平成 30 年度事業計画



主要テーマ：大人が変われば、子どもも変わる

●青少年関係団体等の活動支援事業

- 市町村民会議・青少年育成運動推進指導員・青少年育成指導者等合同研修会 平成31年3月予定



●青少年育成健全事業

- 少年の野外学習事業
平成30年8月1日（火）～5日（日）熊本県阿蘇市
- 青少年体験学習活動ボランティア養成事業
- 青少年囲碁大会 平成30年8月19日（日）福岡市
- 少年の主張福岡県大会 平成30年9月8日（土）那珂川町
ミリカローデン那珂川（文化ホール）
- 福岡県民さわやかマラソン大会 平成30年11月25日（日）海ノ中道海浜公園



●健全な家庭づくり推進事業

- 「家庭の日」「オアシス運動」の推進
作文・ポスターの募集 平成30年8月1日（水）～9月14日（金）
最優秀作品・優秀作品の表彰・展示（アクロス福岡・県庁ロビー）
- 親子教室事業 新規指定：1市町村、指定継続：大野城市（2年次）、みやま市（3年次）
- 乳幼児教育研修会 平成31年2月予定



●青少年健全育成運動広報啓発事業

- 広報紙「若いなかま」の発行 年3回（7月・11月・3月）
- 広報活動 平成31年2月 県庁ロビー
内容：県民会議各事業パネル展示、少年の主張・少年の野外学習事業のビデオ放映等
- 県民会議創立50周年記念誌の発行
- 各種啓発資料の発行
- 県民会議ホームページの更新・報道機関への資料提供



ココロがある。コタエがある。

誠実なココロで人と向き合い、ベストなコタエをご提案する。

それが、創立以来ずっと変わらない西日本シティ銀行の仕事です。

お客様の人生のパートナーとして、企業の皆さまの事業のサポーターとして、

「総合力No.1の地域金融グループ」を目指して、私たちは挑戦し続けます。



西日本シティ銀行

特集

舞

日本古来の伝統を継承する高校部活動紹介

福岡県立嘉穂高等学校

吟詠剣詩舞部

一口メモ

吟詠剣詩舞は詩吟にあわせて日本刀や扇、槍を使って舞うことが特徴。剣詩舞は剣舞と詩舞という2種類があり剣舞は古い武道の型を基本として九動きで武士の心構えや精神・気迫・格調を求められる。詩舞は扇のみを持って舞うのが剣舞と異なり、詩を聞かせ、その演出が詩舞の特徴でもある。

以上が吟詠剣詩舞部の大まかな歴史と概要、活動内容である。

☆顧問の齋藤先生は嘉穂高校の卒業生であり、本校勤続26年目の主幹教師である。剣道部出身で吟詠剣詩舞の専門ではなかったが、平成11年より部を再建、今では、齋藤先生無くして吟詠剣詩舞部は語れないほど。その精神と伝統を継承、吟詠剣詩舞への情熱は練習風景、熱血指導ぶりからも伺える。

◆歴史と実績
昭和10年代…吟詠同好会として発足
昭和45年…吟詠部に昇格
平成11年…吟詠剣詩舞部と改名し再建
平成12年…全国高等学校総合文化祭参加。以後連続して出場
平成26年…優秀校として武道館大会
平成27年…出場（2回優勝）

◆現状と練習
*部員…現在11名（1年生3名・2年生6名・3年生2名）
*毎日の練習…挨拶・黙想・吟詠七則唱和・準備体操・発声練習・基本練習・通し稽古・ミーティング・掃除
*練習時間 月曜日から金曜日まで17時から20時まで
土曜日は13時30分から17時まで
日曜日にも時々練習あり。

☆訪問した7月10日は17時からの練習。練習場は校内にある以前の同窓会会館の3階を使用。西日の当たる空調設備の無い厳しい条件の中で、胴衣と袴に着替えた部員の表情は凛とした武士の佇まい。挨拶から黙想、吟詠七則（愛吟・精進・礼節・一心同体・質実剛健・敏達・時間厳守）を唱和、緊張感と集中力が高まっていく。この「部則」は部が発足した時からの伝統であり、本部活の精神の根幹を成すものとして大切に受け継がれている。



通し稽古の一コマ

袴、足袋は個人負担。道具の一つ「扇」は個人の好みで購入している。各部員の個性や拘りを表現できる楽しみの一つになっている。
☆専門家指導は2名。

外部の専門指導を週に1度依頼。吟詠指導者は水曜日、剣詩舞指導者は水曜日に来校し指導している。

☆稽古中は緊張感を最優先！

刀や槍を使用するため、指導の最優先は事故防止。常に緊張感をもって練習をしている。群舞のためリズムが狂うとケガの原因になる。そして「何より目配り、気配り、心配りを大切に周りに常に気を配り行動するように徹底指導している」と齋藤先生は言う。

☆見ている人に楽しんでもらえるには、自分が楽しくないと話すのは部長の初井彰君と副部長の實岡望さん。

初井君は中学の先輩が剣詩舞部に入っていて、勧められたのが入部のきっかけ。また副部長の實岡さんは実兄が嘉穂高生の時、文化祭で剣詩舞の演技を見て「カッコよさに魅了され、全国大会にも行ってみたいと思った」と、当時を振り返る。8月11日から長野で始まる全国大会で最優秀賞を取り剣舞の最高峰、武道



館で演技をするのが、今最大の目標！と3年生最後の全国大会に思いをはせている。

☆演武の内容は？

作品としては黒田武士・川中島・本能寺・白虎隊・静御前など演題も豊富で、漢詩の内容の把握と時代背景を理解することがより迫力ある演技に。この奥深さが見る者の心をつかみ、武道の型や心構えを芸術的に表現していると魅力があると書かれている。

☆取材を通して

練習風景から見える部員たちの立ち居振る舞い、凛々しさ、声の出し方は、日本人が忘れかけた、失いそうな日本の心を思い出させてくれる。複数校合同チームで臨む夏の全国大会での健闘を祈りたい。



部員全員でクールに

地域の話題

今回は筑後市と直方市の活動を取り上げました

直方市

筑後市

誰もが楽しめる ニュースポーツで異世代交流

直方市青少年育成市民会議

体力向上や世代や年齢を超えたふれあいを深めるため、直方市スポーツ推進委員協議会との共催で、去る平成29年11月9日(日)直方市ふれあい&ニュースポ



ツ大会を開催しました。子ども30人、大人18人合計48人の参加者が直方市体育館に集い、スカットボールやディスクゲッターなどをチーム対抗で行い、白熱した日になりました。平成30年度もカヌーをはじめ様々な交流事業を開催する予定です。今後も、直方市青少年育成市民会議では、異なる世代との交流や自然とのふれあう体験の機会の提供に努めていきます。



筑後市の子どもたち 将来の夢を語る

筑後市青少年育成市民会議

当会議では毎年11月に「青少年健全育成のための意見発表会」を開催しています。この事業は、小・中学生が健全育成に関する意見を発表することで多くの人々が理解と関心を深めることを目的としています。平成29年度は、市内全体から選ばれた11名が「伝記を読んで思うこと」偉人の生き方に触れ、将来の夢を持つこと、「中学生3名が「筑後市の未来と私」というテーマに沿って、素晴らしい発表をしました。

中には郷土の偉人に目を向けた発表もあり、郷土を大切に思う心が感じられました。会場には市内外から400名が詰めか

け、子どもたちが自分の将来を見据え、目を輝かせて発表する姿に感激したという感想が多数寄せられました。



筑後市青少年育成市民会議

事務局だより

主な行事（H30年4月1日～7月15日）

4月 17日(木) 青連協常任委員会
(以降、5/14、6/22)

26日(火) 総務部会
27日(水) 第1回理事会

5月 9日(水) 第1回さわやかマラソン大会
実行委員会事務局会議
(以降、7/18)

14日(月) 第1回広報部会
(以降、6/11・25、7/9・17)

26日(土) 青連協総会
31日(木) 第1回家族部会
定時総会

6月 3日(日) 青年ボランティア・サポーター
研修会

4日(月) 開基大会実行委員会

7月 8日(日) 「育成キャンプ」スタッフ打ち合
わせ会及び事前説明会
11日(水) 少年の主張審査委員会
(以降、7/25)

新賛助会員（平成30年6月現在）

個人

- 松本 義明（筑紫野市）
- 小野 剛史（行橋市）
- 藤岡ひとみ（遠賀郡遠賀町）
- 不動 勝義（宗像市）
- 具志 道次（みやま市）
- 泊 武人（前原市）
- 山田 幸美（行橋市）

赤い羽根共同募金



高齢者、障害者、子どもたちなどへの地域の福祉活動を支援します。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営にも役立ちます。

この広報誌は、共同募金の配分を受けて発行しています。

青少年育成考

「福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会に参加して」



公益社団法人 福岡県青少年育成県民会議
理事 吉田 壽一

今年3月24日から28日までの日程で福岡県江蘇省囲碁交流大会（小・中・高校生代表8名の監督として、福岡県と友好提携25周年を迎えた中国江蘇省を訪問しました。囲碁は頭脳のスポーツと言われ子どもから老人まで誰でも楽しめるゲームで、囲碁をすると思考力・集中力・忍耐力やコミュニケーション能力等が養われるといわれています。現在、囲碁は日本をはじめ中国・韓国・欧州・アメリカ等世界の広い範囲で行われています。

今年、訪中した選手たちは囲碁の交流対局ばかりでなく蘇州・泰州・南京・上海と色々なところを訪れ、中国の文化や歴史に触れ、様々なことを学びました。その内容の一部を紹介いたします。

① 囲碁交流対局：蘇州・泰州で対局
1人各4局し、トータル5勝27敗と大きく負け越しました。しかも中国の選手はほとんど小学生でそのレベルの高さに全員驚きました。対局後は、言葉は通じなくても身ぶり、手ぶりで挨拶を行ったり、相手から定石を教えてもらったりして友好を深め、福岡県の選手は囲碁を更に勉強しようと思えました。

② 中国の文化や歴史に触れる
南京では中山陵（孫文の陵）を見学し、スケールの大きさに圧倒されました。また上海では人や自動車の多さに、驚くとともに夜景の美しさや大規模な歴史的建造物、広大な運河などを見て感動しました。

更に各地の夕食会では本場の中華料理を堪能するとともに日本では今まで食べたことのないカエル、アヒル、タニシ料理等を食べ、大変珍しい経験をしました。

本大会は福岡県と江蘇省の子どもたちの友好と相互理解を一層深めるとともに福岡県の子どもの国際感覚を養う貴重な機会となりました。

編集後記

▼読者の皆様は、少しでもその気迫をお伝えできれば幸甚に思います。

昨年、北部九州豪雨の辛い記憶がまだ癒えない7月6日、7日に西日本を襲った豪雨は甚大な被害をもたらした。多くの方が被災し、尊厳が奪われました。未曾有の災害、数十年に一度という形容は当てはまらないほど日常的に起こるようになり、忘れられることのないそんな状況の中で、2022年の編集でした。少なからず影響も有り、バタバタの取材、原稿の投稿になりました。▼特集記事の嘉穂高校の取材は台座7号や期末試験と重なり、顧問の先生、部員の皆さんにはご迷惑をおかけしました。▼吟詠剣詩舞部は高校の部活動として数少ないもので貴重な取材でした。▼気高さと品格を持つ吟詠剣詩の舞は演じる者はもちろん見る者の心を揺さぶる迫力のあるものでした。

県民会議広報部会長 馬場 京子

青少年の健全育成のために

賛助会員入会のお願い

次代を担う青少年の健全育成を図るため、県民会議は、少年の主張大会、野外学習、マラソン大会など、様々な活動をしています。

県民会議では、賛助会員の募集を行っています。会費は左下のとおりです。電話(092-643-6001)をいただければ、資料をお送りいたします。

賛助会員の年会費

個人	1口	1,000円
法人又は団体	1口	15,000円
特別賛助会員	1口	50,000円

納入いただく方法

会費は、公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の次のいずれかの口座に納入していただくか、県民会議事務局に直接ご持参ください。

西日本シティ銀行千代町支店（普通預金）3053033
福岡銀行県庁内支店（普通預金）526475
筑邦銀行福岡営業部（普通預金）1597091
福岡中央銀行本店（普通預金）1030569
ゆうちょ銀行振替 01700-5-4057

